

てらこし和洋

白山市議会通信



2009年 新年号

新年明けましておめでとうございます。
新しい年を、お迎えられ、いかがお過ごしでしょうか。今年は、皆様方におかれましては、希望に満ちた年となられますようお祈りいたします。
さて、白山市議会も12月議会が終わり、2月の市長・市議会議員選挙の動向が、注目されています。

昨年の米国のサブ・プライムローン問題を発端とした金融危機が、我が国においての100年に一回といわれるような経験もしたことの無い経済不安により、今後、国の財政運営や地方財政への影響が懸念される中、住民の生活に不安を覚えているところであります。

私の、白山市議員としての任期もあとわずかではありますが、残された任期、市民の皆さんの安心した生活を守るため全力を尽くします。

また、白山市誕生から市民の一体感と融和にお手伝いしてきましたが、まだまだ、不協和音や、もの足りない事もあると思っています。しかしながら、世界に誇れる白山市となるよう、さらなる夢と希望と安心のため、愛情と責任と情熱で全力を注ぎます。

私自身、軸足が市民であり、市民の視線を忘れることなく、市政の発展に寄与していきたいと思っております。今後とも叱咤激励して戴き、ご指導ご鞭撻を、お願い申し上げます。



てらこし和洋後援会事務所

白山市議会議員 寺越 和洋 後援会事務所

〒920-2146 白山市日向町和110番地 TEL・FAX 076-272-2789

●E-mail terakos@asagaotv.ne.jp ●メールアドレス terakoshikazu@docomo.ne.jp

プロフィール

昭和33年3月4日生まれ
昭和45年3月 白山市立明光小学校卒業
昭和48年3月 白山市立鶴来中学校卒業
昭和51年3月 県立金沢錦丘高等学校卒業
昭和55年3月 神奈川大学経済学科卒業
平成7年4月 旧鶴来町議会議員 当選
平成11年4月 旧鶴来町議会議員 当選
平成15年4月 旧鶴来町議会議員 当選
平成17年3月 白山市議会議員 当選

白山市議会での現在の役職

生活経済委員会委員
環境対策特別委員会委員
自治基本条例特別委員会委員
白山市都市計画マスタープラン策定委員

その他の役職

白山市サッカー協会副会長 石川県サッカー振興議員連盟会員
白山市相撲連盟顧問
クレインクラブ顧問
秋田犬保存会石川県支部展覧会顧問

平成20年12月議会 一般質問

以下の質問をしました。

◎「市民憲章」の普及・啓蒙は

問い……市民憲章の普及・啓蒙と今後の取り組みを聞く。

〔答え〕……市の花・木・鳥と市民憲章を合わせたパネルを現在制作中で公共施設や各町内会の集会施設に掲示できるように配布する。回覧板や各種イベントの機会でも普及を図る。

問い……市民憲章普及のため、市事業の生涯学習で具現化し事業化をせよ。さらに、市民憲章のそれぞれの項目を、一つ一つテーマとして、各公民館事業で取り上げ、具現化し推進せよ。

〔答え〕……各種行事・大会で積極的にPRに努める。具現化事業はしっかりと検討する。公民館での具現化は地域の皆様と十分協議する。

◎全国瞬時警報システム(J-ALERT)を導入せよ

問い……平成24年度まで計画されている同報系デジタル防災行政無線整備事業と併せて、を導入し、白山市の危機管理能力を高めよ。

〔答え〕……松任・鶴来地域は、平成21、22年度の防災行政無線整備事業の中で導入する。美川・白山ろく地域は、デジタル化の更新にあわせて導入する。

J-ALERT(ジェイアラート)とは、消防庁が発した緊急情報を通信衛星(スーパーバードB2)を利用して地域衛星通信ネットワークに接続された市区町村の同報系防災行政無線を自動起動させることで、人手を介さず瞬時に緊急情報を住民へ伝達するシステムであります。

有事緊急情報を瞬時に地方公共団体へ伝達することで、素早い避難を促し被害を減少させることができるため、各地方自治体の危機管理に貢献するシステムとして期待されています。

◎公共交通について

問い……加賀白山バス白山線(白山体験村6時45分発、松任駅8時20分着)の運行時間が

道路の込み具合から、不規則で、松任高校の始業時間に遅刻する生徒がいるので正確な運行を心がけるよう、バス会社に協力を求めよ。

〔答え〕……始発時間を早くできないか、そして、正確なダイヤ運行を、お願いしたい。

問い……今後の市内の公共交通に関するデー

タとして、市内の三つの高校の生徒たちに通年における通学のアンケートを取るよう求める。

〔答え〕……アンケートについては、試験的な取り組みとして実施したい。

問い……北陸鉄道石川線の加賀一の宮駅から鶴来駅間の運行廃止の届けが出されたが、生徒の通学の確保のため、石川線の鶴来駅から野町駅間は、非常に必要かつ大事であります。今後の市としての施策は何か、また、今後、国・県・金沢市・野々市町に働きかけ、具体策を提示すべきである。

〔答え〕……市の公費を維持費として負担する方法を考えざるを得ない。今後、国・県・金沢市・野々市町との連携を進めていく。

また、簡易踏切や駅利用者専用通路の整備、途中駅での路線バスとの接続機能強化など施策の実施を努めていく。

